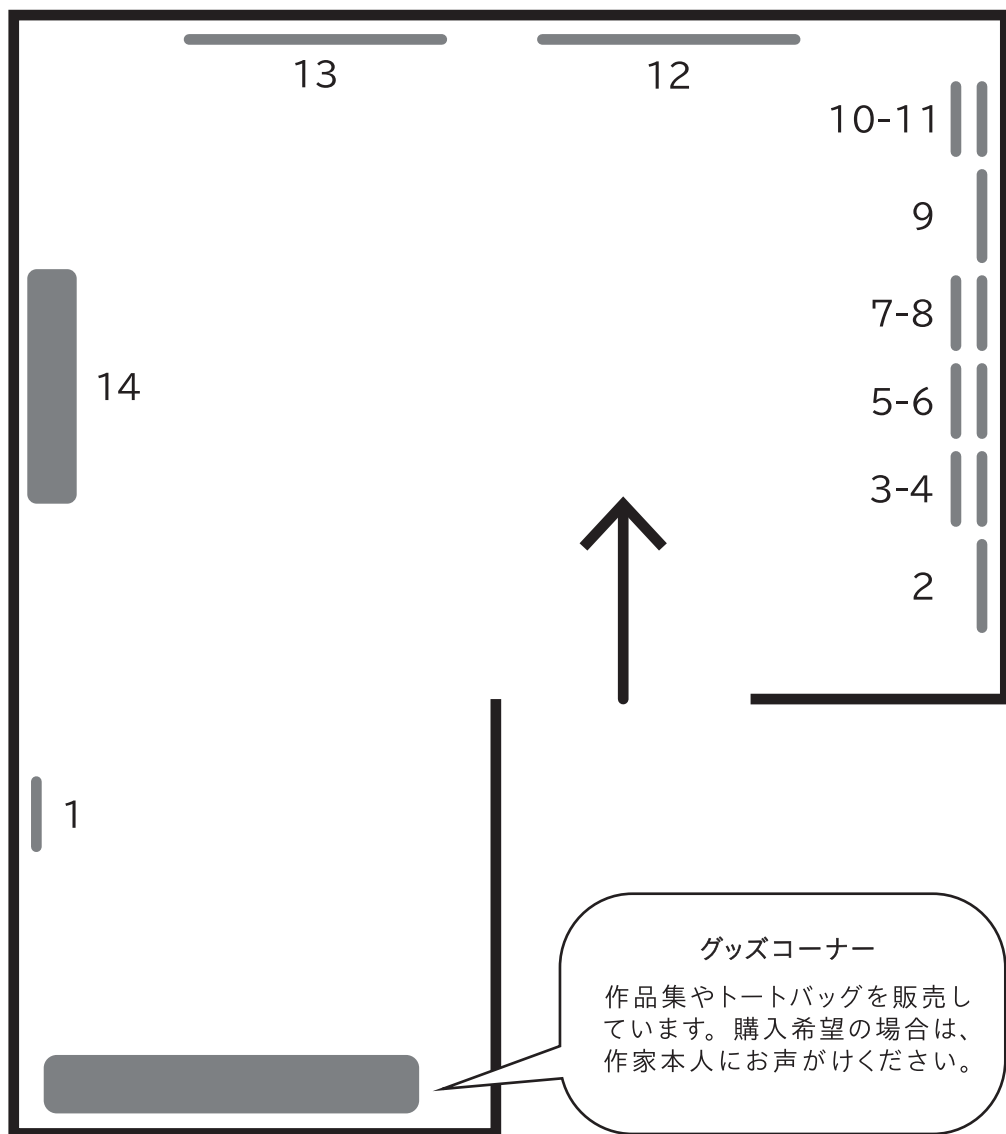


吾郷佳奈 個展 光の当て方次第

とき 2025年4月30日(水) - 5月11日(日) 14:00-25:00
ところ シ (さんずい) 〒602-8368 京都市上京区北町 580-6 銭湯「源湯」中二階



1-11 《光の当て方次第》

- 1 フラッシュ焚いた百合 -1
- 2 ホームのチューリップ
- 3 (上) (うち捨てられた) 支柱のある鉢植え
- 4 (下) フラッシュ焚いた百合 -2
- 5 (上) 紅梅ユニオン
- 6 (下) 支柱のある鉢植え
- 7 (上) 伸び盛りたんぽぽ
- 8 (下) おとなりの盆栽 -1
- 9 いつだかもらった百合
- 10 (上) ひなたの椿
- 11 (下) 夜更けの水仙

鏡にガラス用塗料 | 2025 年

25.0×32.0(cm)、2・9のみ 33.0×43.0 (cm)

12 《reselfie / エコー》

97.0×162.0×6.0 (cm) | アクリル板にミラー調塗料 | 2023 年

13 《selfie / ナルシス》

97.0×162.0×6.0 (cm) | アルミミラーに油性ペン、修正ペン | 2023 年

14 《visibility / my contour》

90.0×50.0×30.0 (cm) | アクリル板にミラー調塗料、トチ | 2023 年

吾郷佳奈 | AGO Kana

1993 年 島根県出雲市生まれ

2016 年 京都市立芸術大学 美術学部 油画専攻 卒業

2018 年 京都市立芸術大学大学院 美術研究科 絵画専攻 油画 修了



ホームページ

1-11 《光の当て方次第》

鏡にガラス用塗料 | 2025 年
25.0×32.0(cm)、2・9のみ 33.0×43.0 (cm)

鏡を色彩の一つとして、絵の具と同じように使いたいと考えています。

きっかけは、夜道でわたしの姿がガラスに反射したとき。ガラスの向こう側には暗さの濃淡があり、影が鏡のようにになっていることに気がついたことです。絵の具に鏡の効果を組み合わせることで、その時の視覚の経験に近づけるのではないかと考えています。モチーフは、だれかの管理下にありながらも自由に伸びていく、身近なみちすがらの植物にゆだねました。

作品の目の前に立つとき、わたしたちと描かれた色面は重なりあい、共に画面を作ります。描くことで姿を留めたい気持ちと、今の瞬間を目の当たりにしたい気持ちとで、絵を描いています。

12 《reselfie / エコー》

97.0×162.0×6.0 (cm) | アクリル板にミラー調塗料 | 2023 年

私の輪郭を描いた線の集積を、鏡面化した自画像です。

私が私を辿った痕跡が、世界を映し出すものとなって欲しいと考えました。

鏡となった線は、周囲に呼応して常に色を変えながらも、私の形であり続けます。それは、移りゆく世界の中で、私という領域は変わらずそこにあるという、私の、ひいては個々人の在り方を代弁しうるのはないかと思うのです。

13 《selfie / ナルシス》

97.0×162.0×6.0 (cm) | アルミミラーに油性ペン、修正ペン | 2023 年

鏡に映る私。その輪郭を直接なぞり描き、集積させた自画像です。

鏡に映る像は、輪郭を追う手の動きに合わせて絶えず動きます。そこに残ったのは、描く主体である私とモチーフである私とのせめぎ合いによって生まれた痕跡でした。描くほどに私は見えなくなっていくますが、それは、水鏡に映る自身を掬い取ってしまうような、切実なことだと思っています。

14 《visibility / my contour》

90.0×50.0×30.0 (cm) | アクリル板にミラー調塗料、トチ | 2023 年

視界の中のわたし自身の輪郭を辿って描いたドローイングを元に、鏡の線で描きました。視界の中ではフレームとして無視される、鼻や頬、前髪の流れ。その間に見える身体の輪郭をなぞり重ねています。

出展作品はオンラインショップにて販売しております。
販売価格など詳細は、右の QR コードから御覧ください。

URL|<https://kanaago.thebase.in/categories/6628642>

